

第1回 幌延町まち・ひと・しごと創生会議
幌延町地域振興（観光）計画アクションプラン検討会

- 日時：平成30年10月11日（木） 午後6時～
- 場所：幌延深地層研究センター国際交流施設1階多目的ホール
- 議題： 1. 開会
2. 自己紹介
3. 委員長・副委員長選出
4. 幌延町地域振興（観光）計画アクションプランについて【資料1】
5. 平成30年度の事業等について【資料2】
6. 今年度事業についての意見交換
7. 地域拠点・道の駅の検討状況について【資料3】
8. その他
9. 閉会
- 参加者：委員12名、オブザーバー12名

《議事次第》

1. 開会
 - ・ 野々村町長より開会挨拶
2. 自己紹介
 - ・ 委員及びオブザーバーより自己紹介
3. 委員長・副委員長選出
 - ・ 事務局より委員長に「幌延市街地区連合町内会 会長 一関 捷治氏」、副委員長に「幌延町観光協会 副会長 高橋 秀之氏」を提案し、一同承認。
4. 幌延町地域振興（観光）計画アクションプランについて【資料1】
 - ・ 事務局より平成29年度に策定したアクションプランについて概要を説明。
5. 平成30年度の事業等について【資料2】
 - ・ 事務局より平成30年度の事業等について説明。
6. 今年度事業についての意見交換
 - ・ 着地型コンテンツを一般の方を対象とすることは良いが、10月末にモニターとして呼びしても魅力あるコンテンツを提案できないのではないか。
⇒今回のモニターツアーは大手旅行会社やネットで体験観光を販売する会社、近隣の観光協会を呼ぶことを想定している。実際に一般のお客さんを呼ぶのではなく、観光のプロから一般のお客さんを呼ぶために意見をもらう。今回の時期に見られない資源等は、写真・動画等で見て頂くように考えている。（事務局）
 - ・ 新しい食材の発掘として、塚田シェフに来ていただくことを予定しているようだが、幌延は漁業権が無い

ため、海釣りで食材を発掘しても、その後、食材として提供できないではないか。

⇒今回は主にきのこの森の食材が基本となるが、塚田シェフから釣り等で海の食材もあれば、使いたいとの要望もあったため、海での釣りも計画している。(事務局)

・ 今後、幌延で漁業が行われることが無く、海産物の提供はできない。今後の発展について可能性が低いことをやるのか。

⇒今回の幌延食材を活用したフェアは、塚田シェフのお店で札幌の消費者に、幌延の豊かな食材を紹介することが主となる。まずは、幌延で採れたもののみで、料理を提供したいと考えており、少量しか手に入らない食材でも幌延の魅力として紹介し、興味を持ってもらうことにつなげたい。実際に海釣りでも釣れるか分からないが、幌延産の海産物があれば幌延にも海があることを理解して頂ける。今回のフェアは、今回の釣りで釣れたものを使うこととなるが、今後の展開があれば塚田シェフが必要に応じて、仕入れるという可能性もある。(事務局)

・ 鴨出汁ラーメンを提供するお店は、札幌にもある。昔は幌延でもトナカイラーメンを提供しており、トナカイでラーメンをあらためて検討できないか打診して欲しい。トナカイラーメンは札幌にはない、インパクトのある料理になる。

⇒トナカイラーメンも含めて今後調整したい。麵屋エイジさんは、ラーメンの作り方も地域に伝えたいという思いもあるようだ。共通したテーマでラーメンが提供できれば町おこしにもなるのではないかと考えている。(事務局)

・ お店で提供している合鴨鍋は人気で評判も良い。最近では、トナカイの生産量が少ないためか、トナカイ肉が手に入らない。観光のお客さんが求めても提供できずに謝ることが多い。

・ トナカイの増産について町はどのように考えているかお教えいただきたい。以前、ジンギスカンにトナカイ肉を使いたいと相談したが、数が無く断られた。生産者としては手一杯のようだ。トナカイ増産に向けては、町の協力が必要だと思う。

⇒町としてもトナカイ肉の調達には苦慮しており、以前はふるさと納税の返礼品でトナカイの缶詰を用意していたが、今は提供できていない。現状では生産されたものは全て売れている状況にある。(事務局)

⇒以前と比べてトナカイ肉の需要が増えているように思う。畜産は個人の方、1軒のみとなっており、生産量が上がらないため手に入らない。これまでは観光と畜産で分業していたが、トナカイ観光牧場でも1から2頭でも畜産として飼育できないか検討している。今後は、もう少しトナカイ肉が入るようにしたい。実際に肉になるまでには、少し時間がかかる。(野々村町長)

・ 旅行会社のバスツアー用にトナカイ肉の入ったお弁当を求められたが、今はできないと断った。しかし、再度問い合わせがあり、トナカイ肉が手に入らないということで断ったが、怒られたことがある。幌延はトナカイの町としてPRしているが、トナカイ肉が無ければ、かえって幌延の町を傷つけることとなるかもしれない。

・ 幌延は山も川も魅力がある。親子を対象としたヤマメ釣りのツアーは、観光資源になるのではないか。

⇒滞在型のツアーは有効な手段だと思う。(事務局)

・ 釣りとなると朝早い方が良い。幌延に1泊しなくてはならないのは、ネックになるのではないか。幌延は建設関係者などで宿が混んでおり、なかなか泊まれる所が少ない。

⇒親子であればキャンプが良い。ヤマメ釣りのツアーでお客さんが増え、キャンプも人気になれば雇用も増える。

・ 害獣駆除として、年間 600 頭程の鹿を駆除している。今は焼却処分しているが、ジビエ等で活用できれば町の新たな資源となるのではないか。

⇒豊富のサロベツベニソンに出すことはできないか。

⇒駆除の際に撃った場所によっては、受け入れてくれない。600頭全ては無理としても、少しは活用できれば良い。町の方で検討頂きたい。

7. 地域拠点・道の駅の検討状況について【資料3】

- ・資料3に基づき、事務局より地域拠点・道の駅の検討状況について説明。
- ・昨年まで本検討会やワークショップにて拠点施設について議論頂いた。具体的な議論に進むためには、もう少したたき台や検討材料、情報が必要と考え、役場内で検討委員会を立ち上げ、各課横断的に議論している。今回、ご提示した資料は検討結果ではなく、途中経過となっている。財政的なことや土地の規制などは考慮せず、さらに町が抱えている懸案事項も加味し、観光客も町民も喜んでいただける拠点施設として検討したものといっている。これからは、財政的なことや土地の規制も含めマイナス面の要素も含めさらに検討を進めていく。(岩川副町長)
- ・拠点施設を計画している道路には一日に何万台も走行しているとのデータがあった。観光は曜日や季節性が大きく影響するため、サラリーマンの方が立ち寄ってくれる方が良いのではないかと。幌延のどこでお金を落としてもらうのが良いのか考えると商店街などにお金を落としてもらえばよい。トナカイ観光牧場でトマトを育てているようであるが、原価で飲食店やホテルで卸してあげれば、チャンスが広がるのではないかと。地場の人に効果があることを考えた方がよい。また、雪印のバターが北海道バターと表記されるようになったのは残念であった。
- ・本検討会が去年の後半頃から道の駅を宣伝する使命が与えられたように感じている。今回の資料も含めて、拠点施設と表記するのではなく、道の駅と表記し、前面に出した方が分かりやすく議論がしやすいのではないかと。名山台展望台は管理が出来ていないため、観光資源として位置付けるをやめるならやめても良いのではないかと。

⇒今回の拠点施設の機能については町の課題も入ってきている。もう少し町として課題と施設に必要な機能について教えてもらえると議論も違ってくると思う。拠点施設が不要との意見もあっても良いとのことであるが、この会議は拠点を選定する会議ではないと思う。

⇒私は拠点を選定する場だと思っている。

⇒拠点を選定するということでは、この場に参加する人に拠点施設について反対している方はいないということか。

⇒拠点施設については、役場内で決定し、町議会で承認いただくのが通常の手続きとなる。しかし、本検討会の皆さんはいろいろな立場で、いろいろな経験をされている。ぜひ、決定の可否ではなく、様々なご意見を出してほしい。(野々村町長)

- ・近年、除雪作業者の技術者が減っており、除雪について課題がある。道の駅の駐車場などの除雪作業は誰が行うか想定しているか。今ある既存の広い駐車場を活用することを考えた方が効率的ではないかと。また、道の駅の経営が採算ベースに乗るかどうかが重要となる。専門家にこれをやれば必ず採算に乗るということを示してもらいながら、計画を検討した方がよい。今後は、トナカイ育成農家を増やすための施策についても検討したらどうか。
 - ・拠点施設C案が分かりにくかった。Cは幹線道路から外れているのか。道の駅としては、必要不可欠な機能についても情報が欲しい。個人的には道路と川の双方の拠点となる場所が良いと思っている。
- ⇒C案は町中になる。道の駅は車の往来が多い道沿いに作るのが一般的だが、通年利用や町中への経済効果を考えるとC案も良いのではないかと考えている。今は道の駅は目的地となるため、多少幹線道路から外れても人は来るのではないかと。今後、町営のお風呂も更新が必要なため、一緒に検討した。町の課題については次回までに整理して、分かるようにしたい。(岩川副町長)

- ・ 営業が厳しくトイレのみでその他の営業をやめている道の駅もある。安定的に利用する人を集めることを考えると地域の皆さんが使いやすい環境も必要になる。スーパー銭湯があれば、いろいろな人がいろいろな目的で利用するのではないか。安定的に営業できることが重要となる。

8. その他

- ・ 特になし

9. 閉会

- ・ 一関委員長より閉会挨拶

会議の様子

